

令和6年 4月 15日

1 指導体制

顧問教諭氏名		部活動指導員氏名
主顧問	堀越 晴美	渡辺 英俊（週2回）
副顧問	稲垣 美希	小樽 誠（週1～2回）

2 年間目標

- （1）公式戦 団体3回戦進出
- （2）高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく、日々努力を重ねる。

3 指導方針

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

- （1）各自の目標を決め、目標が達成できるように毎日の練習を大切にする。
- （2）体力をつける。
- （3）目標を達成して得られる成就感を大切にし、今後の生き方に役立てる。
- （4）試験1週間前からの休みでも学習時間が足りない部員には、部活動を休んで学習することを禁止しない。

4 指導内容・方法

- （1）体罰・暴言・ハラスメント等のない指導
体罰をしない。暴言をしない。ハラスメントをしない。
- （2）生徒間の暴力禁止、いじめの防止
生徒間の暴力を禁止する。いじめを防止する。
- （3）事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。
制服で打たない。裸足で打たない。準備運動をする。ふざけない。疲れている部員はコートに入れず、状態に即した練習や見学をさせる。
- （4）清掃・施設管理
使用後のコート、部室など高校生として最低限の自己管理。

5 活動の手順

- ・準備運動
- ・基礎打ち
- ・パターン練習（時間がなければ割愛）
- ・各自が考える補強、強化メニュー
- ・試合形式の練習